

愛媛FC 後援会

プロサッカーチーム、Jリーグ愛媛FCのために時間と労力を惜しみなく使ってくださる方々
愛媛FC、ふるさと愛媛へ想いはあっても実際のサポート活動には参加できない方々
愛媛FC 後援会が両者の想いを繋げます。

当会は愛媛FCおよび愛媛FCのために活動している皆さんを支援することを目的として設立されました。
Jリーグおよび愛媛FCを通じた地域の活性化と、ふるさと愛媛の全国へのアピールを支援します。
愛媛FCがふるさと愛媛をさらに元気にしてくれるお手伝いをします。

愛媛FC 後援会準備会

<http://efck.net/>

事務局（オレンジスポット内）:

〒790-0001

愛媛県松山市一番町1-14-10 井手ビル1階

Fax: 089-915-6214

Email: orange@ehime-support.net

ご入会とご支援のお願い

2008年10月 (ドラフト ver. 0.96)

愛媛FCを、愛媛を想いながら直接応援
できない数多くの愛媛ゆかりの方々

全国各地から愛媛・愛媛FCへの想いを
ご支援金という形でお預かりして集結！

時間と労力を惜しまない
サポーターグループ、ボランティア
その他有志に届け様々な
愛媛FCサポート活動
を支援します



プロサッカーチーム、Jリーグ愛媛FCの若き
イレブンたちは「愛媛とオレンジ色」を背負い、
全国各地で戦っています



愛媛
への想い

支援金

愛媛FC 後援会

支援金
+アイデア

支援金
+アイデア
+労力=実行

雨の日も風の日も愛媛FCをサポートし、
愛媛を全国でアピールし続ける仲間がいます



皆様のご支援に、有志達の力が加わって
パワーアップする愛媛FCとそのサポーターは
愛媛をさらに元気にし、愛媛発の愛と元気を
全国の愛媛ゆかりの皆さんに届けます

■ Jリーグとは

- 日本サッカーの活性化・実力向上と地域と一体となったスポーツ振興を目的に掲げ、全国24都道府県のJ1リーグ18チーム、J2リーグ15チームが3月から12月までのシーズンを戦うプロサッカーリーグです。

■ 愛媛FCとは

- 愛媛県全域をホームタウンとする県内唯一の本格的なプロスポーツチームです。2005年にアマチュア最上位リーグのJFLで優勝、2006年よりJ2リーグに昇格、参戦しています。チームカラーはオレンジ、みかんをもチーフに擬人化したマスコットを擁して愛媛をスポーツで元気にして、また全国で愛媛とみかんをPRしてくれています。
- Jリーグ内では最小レベルの予算規模にもかかわらず、2006年9位、2007年10位(13チーム中)と健闘、その**経済波及効果は12億円**と推計されています。(2006年度、いよぎん地域経済研究センターによる)
- いま少し強化費が増えればJ2中位から上位、さらにJ1昇格を狙えると信ずるに足る成績を上げています。予算規模が数倍から十数倍の強豪チームを打ち破ることもしばしばあり、特に2007年の天皇杯では**アジアチャンピオン、浦和レッズに快勝、準々決勝まで進出**しました。
- 経営状態は健全と報告され、基本的な運営費はほぼ固定されています。今後の収入増加分はほぼ強化費に充てられる見込みです。チームはさまざまな努力を続けており、今シーズンはさらなる健闘が期待されます。

■ 課題

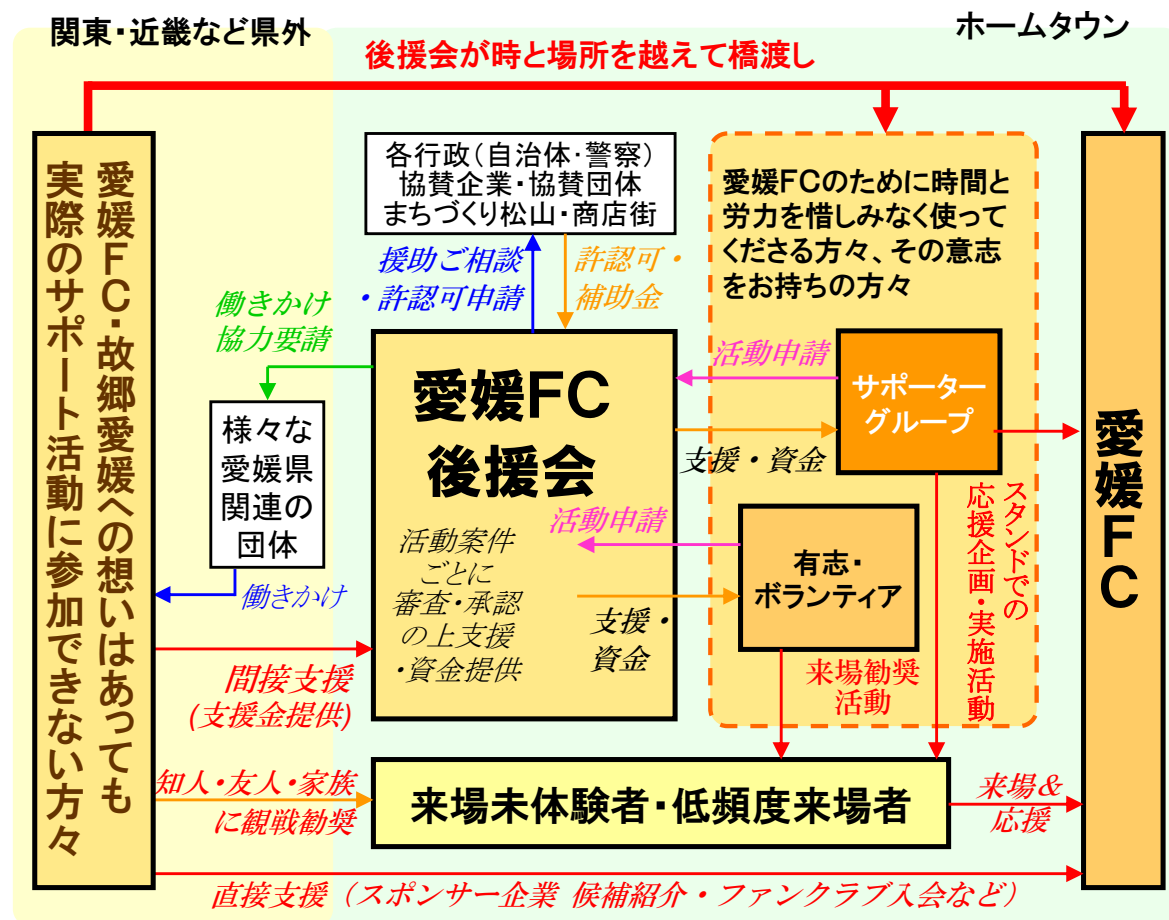
- 一方、ホームスタジアム(愛媛県総合運動公園陸上競技場、本年3月よりニンジニアスタジアムと改称)へのアクセスが不便なこともあり、観客動員数が伸び悩んでいます。
- 観客数の増加 → チームの強化 → スポンサー獲得 → J1リーグ昇格
という好循環を生むためには来場未体験・低頻度来場者の方々への草の根の働きかけが必要です。当会はサポーターグループ、ボランティア、有志の方々と連携しこういった活動を効果的に支援します。

■ 後援会の基本的なしくみ

- 愛媛FC後援会は愛媛FCおよび愛媛を応援して下さるお気持ちがありながら、直接応援することが難しい方々から、そのお気持ちをご支援金としていただき、集約します。
- ご支援金はお一人5千円以上とさせていただきます。(学生の方は3千円以上) ご無理のない範囲で、たくさんのご支援をお願いいたします。
- 当会では愛媛FCをサポートするさまざまな活動を行っているグループ、個人から活動プランの申請を受け付けます。
- 当会では愛媛FCに対し様々な関わり方を持つ8人以上で構成される幹事会を運営し、申請された活動プランを当会基準に照らして審査のうえ、過半数をもって承認し、その活動に対して、いただいた支援金の範囲内で、補助金の支出および関係各位への働きかけなど必要な支援を行います。
- 承認した活動プランおよび活動の結果は収支を添え速やかに当会のホームページで公開します。
- 幹事会から独立した監査役により活動と収支状況の監査を3ヶ月毎に受けます。

■ ご支援いただく手続き:

- お手数ですが、ご支援金は別紙記載の当会口座あてにお振込みください。(必ずお振込み控えを保管なさってください。)
- お振込みに際して、以下の内容を電子メール、ファックス、郵送のいずれかにて当会あて、ご連絡ください。事務局より受領確認のご連絡を差上げます。
 - お名前・ニックネーム、連絡先:住所/電話番号/メールアドレスのいずれか、お勤め先/学校
 - お名前とお勤め先・学校について、当会ホームページでの掲載の可否
 - (1万円以上ご支援いただいた方につき)会報郵送のご希望の有無(通常Eメールにて)
- 愛媛FCおよび当会の活動状況はホームページにてごらんください。



具体的な活動の企画例 (概算費用は1回あたり)

愛媛FC 後援会のご案内 ドラフトver.0.96

| 活動名称 | 概算費用 (主な項目) | 内 容 |
|-------------------|-------------------------------|--|
| ホームゲーム日の街頭告知活動 | 5～8万円 バス貸切代 チラシ・配布物 | チーム事務局が試合の運営で忙しい試合当日に、愛媛FCのマスコットキャラクターのイラストでラッピングした大型バスで街中を周回し「本日ホームゲーム！」を告知します。スタジアムへ新規層、ライトサポーター層を誘導に関し、即効性のある効果が期待されます。 |
| 街頭パブリック・ビューイング | 10～20万円 イベント什器 チラシ・配布物 | 商店街大型ビジョンをお借りし、アウェイゲームのパブリックビューイングを、効果的なタイミングに開催します。スタジアムが市街中心から遠く、地上波での放送の回数に限られているなか、スタジアム観戦未体験の方々に愛媛FCとスタジアム観戦の興奮を疑似体験していただき、興味を持っていただくきっかけにさせていただきます |
| 商店街パレード | 5～20万円 イベント什器衣装 チラシ・配布物 | 昨年、一昨年と2回開催されたハロウィーンパレード(オ～レウィン)のように街頭での告知パレード・イベントを適宜タイミングをみて企画・開催します。(チーム自身で企画されている場合はそちらをお手伝いします。) 一般の方の人通りが多い場所において愛媛FCと応援することの楽しさをアピールします。 |
| 地域紹介情報の編纂・発行・配布 | 5～10万円 レイアウト作業 印刷 | 全国各地から応援に訪れるアウェイサポーターに愛媛の情報を提供し地域活性化につなげようという情報誌、「さぽサポえひめ」の編集・発行・配布を行います。アウェイサポーターの来場はスタジアムの雰囲気作りにかかせず、彼らが持ち帰って発信する愛媛のイメージや評判、は愛媛にとってとても大切なものです。 |
| スタジアムマガジン編纂・発行・配布 | 15～20万円 レイアウト・印刷 原稿料 | チームから発行・発信されるマッチデープログラムや公式HPとは異なる、サポーター目線からの情報を発信できる冊子を定期的に編纂・発行・配布します。 |
| アウェイの地における観戦勧奨 | 5～15万円 チラシ印刷 一部通信費 | 関東・近畿在住の愛媛ゆかりの方々に当地でのゲームの応援を勧めます。国立に約1,500人、味スタに約1,000人の方々にお願いしましたが、まだ関東圏に20万人といわれるゆかりの方々のごく一部にしか届いていません。ながらく離れているもののふるさとに対して何かしたいという想いの方々どうしの出会いの機会であります。 |
| 応援チャントCD作成・配布 | 10～15万円 CD製作・複製 チャント集印刷 | 郷土色満載の応援コールがスタンドで合唱されるさま、またそれに参加することはサッカー観戦の醍醐味の一つです。特に初心者の方々に短期間に覚えていただき、スタンドでの応援に参加していただくために、実演を録音したCDを製作・配布します。 |
| 街中フラッグ掲揚 | 3千円/1ヶ所 フラッグ ・金具実費 | 各地域の商店街組合や個々の店舗に交渉して、ホームゲーム当日、朝から夕方まで、愛媛FCのフラッグを掲げていただくようお願いいたします。これは地域の人たち(特に低頻度のライトサポーター)にホームゲーム開催日であることに気付いてもらい、スタジアム来場を促す効果を狙うものです。 |
| スタジアムスタンド内応援企画 | 10～50万円 製作物の素材 一部制作外注 | 人文字、チアーパネル、ビッグユニフォーム/フラッグなどを使った大掛かりでスタンド全体の協力を得て行う応援を企画・実施します。通常、各サポーターグループがそれぞれカンパなどで資金を調達し、これらの物を製作していますが、後援会を通じて、資金支援を行うことで、より盛大で組織的な応援を目指します。 |

- **松山市近郊在住ですが、後援会には入会できないのでしょうか？**
 - 県内在住の方々にはまずホームスタジアムへご来場いただき、直接、愛媛FCを応援して下さるようお願いいたします。その上でさらに後援会を通じてご支援いただけるようでしたらありがたく受けさせていただきます。実際のサポート活動についても公式HPやメルマガなどをご覧の上、是非積極的にご参加ください。
- **後援会の法人会員はないのでしょうか？**
 - 法人としては愛媛FCのスポンサーになっていただく、また愛媛FCの法人会員になっていただく、という直接支援のルートがございますのでいずれかをご検討いただきますようお願いいたします。【県外で法人を設立されていて、愛媛FCの法人会員ではチケットが使われないままになるのではというお問合わせの場合の対応は事務局と要ご相談。法人会員になっていただき、チケットは後援会で活用させていただくことも】
 - また後援会へのスポンサーは個別のイベント、印刷・配布物についてのみ受け入れます。もし後援会全体に対してのスポンサー申し入れがあれば、それはチームへの直接スポンサーとしてご紹介すべきと考えます。
- **後援会への賛同者がそんなにたくさんいるのでしょうか？ 活動に十分な支援金があつまるのでしょうか？**
 - 一つの背景として、我が国では三大都市圏への集中が過度に進んでいることもあり、数多くの愛媛ゆかりの方々が県外にいらっしゃることがあげられますが、たしかに初めての試みであり、その成果をたやすく予想することはできません。これまで様々な愛媛FCをサポートする活動を通じて得たご意見や手ごたえから、皆さんの「故郷に対してなんらかのことをしたい」というお気持ちに対し「愛媛の名前を背負って全国で戦うプロスポーツチーム、愛媛FCを応援していただくことが一つの素敵な方法であること」を訴えていくことで、この仕組みを稼働させるのに最低限必要なレベルのご支援はいただけるものと信じており、そのご支援金のレベルに沿って、適切な規模のサポート活動を支援していきます。（会の規約において収入を越える支出は承認されないものとします。）
- **愛媛FCファンクラブと後援会はどう違うのでしょうか？**
 - 愛媛FCファンクラブは個人の方が年会費をチームにお支払いいただくことで、各種割引や優先権などご自身に様々なメリットが得られ、個人とチームとの結びつきを強めていただく仕組みです。
 - 後援会はまず新しい層、すなわちこれまでスタジアムに来ていない、もしくはめったに来ていない方々に声をかけて来場し、応援していただくことを最大の目的とする仕組みです。（愛媛FCを応援する仲間が増えることで、将来チームが強くなっていき、必ずやご自身にもメリットが戻ってくるものと考えます）。後援会自体から会員に支援金の見返りとなる直接のメリットが生じるものではありません。
- **なぜ会費ではなく支援金なのでしょうか？**
 - 支援金としていますのは、毎年機械的、義務的に決まった金額をいただくのではなく、それまでの活動の成果や今後の計画をみていただき、ご賛同される度合いに従ってご支援いただきたいという考えからです。したがってシーズン途中、たとえば3位争いに突入して、もうひと押しで昇格へ！となれば、すでにご支援金をいただいている方からさらにご支援をいただくといったことも想定しています基金的な性格を持ちます。会費としてしまうとこういったことが難しいと想われます。翌年には昨年の活動をご説明の上、再度ご支援をお願いする予定です。

- とくにサポーターグループに属していません。温めている活動のアイデアがあるのですが...？
 - 個人の方からのアイデアも是非、後援会事務局までお寄せ下さい。必要に応じ、サポーターグループの方々なども交えて検討の上、採用させていただくかどうか判断いたします。実際に実施する場合には、可能であればご自身もご参加ください。サポーターグループとの交流が生まれるきっかけとなると思われます。内容によってはお受けできなかったり、タイミングを選ぶため少しお待ちいただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- これまで各個人、サポーターグループがある意味、各自創意工夫してのびのびと、楽しく好きなように自己責任で活動してきた事について申請して援助、報告となると今までのような活動や意識、自主性が薄れてしまう懸念はないでしょうか？
 - この会によって、いろいろな活動に縛りをかけることはまったくありません。むしろ逆で、いろいろなご提案を自由にいただいて、目的が愛媛FCの認知度アップ、来場者増などにつながるもので、申請されている内容に無理がなく、申請されている費用もリーズナブルであればどんどんそういった活動を後押しするものです。もちろん支援金や行政・警察との調整や、広く人手の募集が必要のない活動については後援会に届ける必要もありません。こういったいずれかの点について申請者自身では手配が難しい場合にはお手伝いしましょうという趣旨です。また独自にやられている活動に対し、後援会の承認基準にあわないからと指摘することはありません。万が一、後援会の仕組みの外で一般に不適切と思われる応援活動などが行われていてもそれを注意するとすればチームからになると思います。
- 仕組みが補助金行政のようで単発の活動で終わってしまい、まとまった活動につながらない懸念はないでしょうか？
 - 後援会としてはゼロからのスタートですから、そういった議論以前の問題と考えており、どれくらいの支援金を集められるかも未知数ですので、まずはできること、今皆さんがやっていたり胸のうちに温められていたりする活動を支援させていただき、そんななかからとても優れた大規模な応援活動が企画・提案されるようでしたら、さらに頑張る必要資金を集めることとなります。また決して貴重な支援金を無駄に使うことのないよう、計画と結果を逐次公表し皆さんにみていただく予定です。
- 一日一善などチームによる活動と後援会による活動とが重なったり競合したりしないでしょうか？
 - すべての案件はクラブの承認をいただくことにしていますので、チームが認識しない活動が行われることはありません。チーム事務局から、単に幹事の一人として入っていただき幹事会の一票をもってご判断いただくのではなく、拒否権をもつていただくという考え方で、なるべく早い段階から活動計画の情報をご提供し、クラブとして困ることは止めていただく、もしくは変更を要請していただくことができる仕組みです。
- 支援金が5千円以上(学生は3千円以上)というのが高すぎませんか？
 - さらに小額から受け付けて幅広いご支援をいただければという考え方もありますが、その他の事例を伺いますと、最低額をきめるとそれがおそらく大半の方の支援額になってしまうと思われます。一方では新潟の後援会のようにお1人1万円ずつ、として経済的に余力のある人からしっかりとご支援をいただくという意味合いを強くしても、と思うところですが、そうするとお気持ちはあるのに金額で二の足を踏む人もいらっしゃると思われることからこのガイドライン金額を設定しています。個別にご支援をお願いにあがる際には、口頭でできるだけたくさんご支援いただきたいというニュアンスを伝えていただくつもりです。100円募金的にしたら、という案もいただきましたが、システム的な手当てが難しく事務局の管理能力を超えますので、今後の課題として検討をつづけていきたいと思っております。